

令和8年度特色ある区づくり予算  
区役所企画事業案に対する意見と担当課の対応

事業名	区役所企画事業案に対する意見	担当課	担当課の対応
佐潟水鳥・湿地センター運営アドバイザー業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく潟を眺められる良いデッキがあるのに、ベンチなどのゆっくりできる場所が少ない。アドバイザーも入れて集客を目指していくなら、水際にゆっくりコーヒーでも飲んで安らげる場所があるといいと思うので、カフェやベンチの増設などを検討してほしい。(環境への配慮をした土に還るカップでの提供などもよいのではないか)</li> <li>・木道は一度整備しても、その後の維持管理には地元の協力が必要であり、地域意識の醸成が重要である。そうした状況下でアドバイザーの導入は、一つのいいきっかけだと思う。アドバイザー導入とともに今後の佐潟周辺のあり方が深く考えられるとよい。</li> </ul>	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐潟水鳥・湿地センターの訪問者がリラックスできる空間として、ベンチやカフェの設置についてご提案いただきありがとうございます。今年度実施した佐潟ファーマーズマーケットでは、地域の農産物を販売しながら、訪問者がくつろげるエリアを設けました。このような取り組みを踏まえ、潟を眺めながらゆっくり過ごせる場所の設置について、今後さらに検討してまいります。環境に配慮したコーヒー提供のアイデアも含め、地域の魅力を伝える場として、より多くの人々に快適な時間を過ごしていただけるよう努めます。</li> <li>・佐潟はかつて農業や漁業の場として、地域の生業に深く関わってきました。例えば、ハスやコメの栽培、コイやフナの漁業が盛んで、これらの活動が潟の環境保全に重要な役割を果たしてきました。こうした歴史を踏まえ、現在では、ハス復活プロジェクトや潟普請など地域住民が中心となって佐潟の環境改善に取り組んでいます。</li> <li>引き続き、アドバイザーのご意見も取り入れ、地域との協力関係を強化しながら、持続可能な管理体制を構築していきます。</li> </ul>
なぎさのふれあい広場改修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BBQ客のゴミ問題が発生している中で、BBQサイトという形に整えて協力金を取るなど、ある程度利用を制限したり、マナーを守ってもらうための工夫ができるとよい。</li> <li>・民間を活用した取り組みの成功事例は他都市または市内にも多いと思うが、それらを参考にしながら今後の利活用を進めてはどうか。</li> </ul>	建設課	<p>なぎさのふれあい広場は、市民の皆さまが気軽に海と親しみ、集い、憩う海浜空間を創出することを目的として平成13年にオープンしていますが、供用開始から四半世紀が経過するなか、施設の老朽化が大きな課題となっているため、当事業を実施することで施設の修繕を行い、適切な維持管理に努めています。</p> <p>令和8年度は、施設修繕予算を拡充して、引き続き老朽化への対応に努めるとともに、ご指摘のあった、利用者のマナー改善に関する課題については、これまでも、注意喚起のチラシの掲示を行うなど啓発を行ってまいりましたが、今後は、海岸管理者である国はもとより区内関係所属が連携して、他都市の先進事例も収集しながら、ご提案の方法も含め最適な方策を見極めていきます。</p>
海の賑わいスポーツマイルプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、民間の力を借り事業実施をしているとのことだが、もし今後、本事業に予算がつかなくなると、民間だけで同規模の事業を自走させることは予算上難しい部分があると思う。そのあたりのフォローも考えていけるとよい。</li> </ul>	地域課	<p>ご指摘の点については、現実的な課題として認識しています。</p> <p>本事業を民間のみで同規模に継続することは、現時点では予算面等で難しい側面がある一方で、「スポーツに親しむ機会の提供」という行政が担うべきまちづくりの側面もあることから、将来的な事業の持続性や支援のあり方についても、今後検討していく必要があると考えています。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、事業の在り方について引き続き整理していきます。</p>
地域と大学連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は大学からの提案事業を実施しているとのことだが、今後は、区が地域ニーズを示して、大学にやってもらいたいことをお願いするような形で実施できるとよいのではないかと。</li> </ul>	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学・学生の自由で幅広い発想を活かすため、大学・学生からの事業提案を尊重するかたちは継続する予定ですが、本事業に挑戦したいが、テーマが見つからない大学・学生向けに、募集要項に区が考える地域ニーズを例として提示したいと考えています。</li> </ul>
Meetup!NiigataWEST2040	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みや活動の様子がもっと見えるように広報や周知にさらに力を入れていただけるとよい。</li> <li>・地域おこし協力隊の活用について、任用期間中の活動内容や協力隊の方の任用期間が終わった後の着地点や評価指標などはよく考えておく必要がある。</li> <li>・地域活動の担い手減少はすでにひっ迫した状況である。このような若者育成という視点の事業実施も良いと思うが、地縁団体運営がボランティア状態であることの解消など、現状の地域のニーズに合った取り組みも行われるとよい。</li> <li>・このような新たな地域活動の担い手やコミュニティの育成に対する行政の立場としては、プレイヤーが集い繋がるきっかけづくりが、一つの最終的な形になるのではないかと思う。緩やかなコミュニティの維持を続け、結果として大きな動きや事業などができてくるのが理想的だと考える。</li> <li>・他の地域で行われている同様の交流会に参加したことがあるが、非常に盛り上がっており、いい取り組みだと感じた。他の地域の事例も参考にしながら継続し、同じように盛り上がっていくとよい。</li> </ul>	地域課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取組や活動内容については、地域活動に取り組む若い世代に情報を届けることに重点を置き、区HPやYoutube、各種SNSなどで広報・周知を行っております。より多くのプレイヤーの方に届くように広報や周知の仕方については更なる改善を加えていきます。</li> <li>・地域おこし協力隊の活用については、来年度に向けて本庁の制度所管課と綿密な調整を行う中で、ご指摘いただいた事項の慎重な検討を行っていく予定です。</li> <li>・地域活動の担い手減少に対する、本事業とは異なるアプローチの取り組みについては、今後の事業検討の際の参考とさせていただきます。</li> <li>・ご指摘の通り、本事業でも「プレイヤーが集いつながるきっかけづくり」が重要と考え、取り組んでいる所です。同様の事業が盛り上がっている他地域の事例も参考にしながら、今後も継続していきたいと考えています。</li> </ul>